
唇で交わす(大鳥ksg × wkb)

エイノジ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

唇で交わす（大鳥k s g x w k b）

【NZコード】

N7952Y

【作者名】

エイノジ

【あらすじ】

（大鳥k s g x w k b）

夢をみた

とても残酷な夢だ

俺はバイクに乗っているときに、乗用車に跳ねられて意識不明になる夢

呼吸が段々薄くなつていつた俺に、偶々側に居た春日が人工呼吸をする

それだけならまだ良かつた

一命をとりとめた俺は起き上がり、何故か隣に横たわる春日の姿を目撃した

春日は頭から血を流している

光沢を持った血液を額に垂らし、うつ伏せに…

何故だ

事故に遭つたのは俺じゃないのか

訳が分からなくなり、文字通り頭を抱えると、ヘルメットにかつん

と当たる

いや、確かにバイクに乗っていたのは俺だ

事故に遭つたのも俺だ

呼吸困難になつたのも俺だ

春日に助けられたのは、俺だ

倒れているのは、春日だ

「、すが…」

俺を助けた代わりに春日が呼吸困難になつた？

いや違う、頭を打つたような形跡がある

「おい春日、春日！」

体を揺さぶると、うつすら目を開き

「 」

「聞こえねえ…何て言つたんだ、春日、おいーー！春日ーー！」

「 」

春日の手が伸びて、俺の後頭部を弱々しく掴むと、ゆっくり引毛寄せられ、近くに…
と口が動いたのが分かった
「何だ春日、」

そしたらアソイツ、何て言つたと思つ？

…何も言わずにキスした

このバ春日

(後書き)

エムブロードバトン倉庫

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7952y/>

唇で交わす(大鳥ksg × wkb)

2011年11月23日18時50分発行